

四万十町が東京で物産&写真展で情報発信・「四万十町展」



↑ギャラリーの入口

清流通信読者の皆様こんにちは！今回は今月12日～14日に東京で開催された「四万十町展」のレポート。

四万十川と隅田川が19年前に姉妹河川となったことからお互いの交流が始まり、その縁で隅田川市民交流実行委員会の協力を得て平成15年から「四万十くぼかわ展」と称し物産展と写真展を台東区で開催。今回は合併して四万十町となって新たに「四万十町展」と名前を変え一昨年が続いての開催となりました。

会場の隅田公園リバーサイドギャラリーには実行委員会スタッフが開催前々日から訪れ搬入と設営。専門業者に頼らない手作り感たっぷりといった会場作りですが、毎回協力いただいている同町出身の友永詔三氏（NHK人形劇プリンプリン物語の人形制作で知られる造形作家）の作品や黒潮町在住の奈路広さんの四万十川の写真、町職員自作のペーパークラフト作品の展示により味のある内容になりました。（当財団も出展して四万十川をPR！）

初日の土曜日はいにくの雨となりました。しかし応援で駆け付けてくれた首都圏在住の四万十町出身の方達の冷たい雨の中でのピラ配りと呼び込みのお陰で沢山の人が入り、毎回好評の産地直送野菜や地場産品コーナーでは人の行き来が一時困難になった程。

3日間で約3千人が来場。中には毎回楽しみにしているという近所の人や、以前、ここにふらっと来て興味がわき昨年思い切って四万十川旅行をしたという方などもいて、スタッフと都民の方との交流も盛んに行われていました。



↑ 沢山の方にお越し頂きました！



↑ 大人気の直送野菜。とにかく安い！



↑ ペーパークラフトの沈下橋を展示



↑ 不思議で楽しい友永ワールド！

トピックス

おかみさん市おもてなしバイキング大好評!!



以前にこの清流通信でも紹介させていただいたことがある四万十町十和（旧十和村内）の「おかみさん市」（第44回農林水産祭・内閣総理大臣賞受賞）ですが、また新たな取り組みを始めました。それは「おかみさん市おもてなしバイキング」。

昨年の7月にオープンした「道の駅四万十とおわ」で水曜日の11時からのランチタイムに大人1000円、子供500円の料金で、おかみさん市「おもてなしツアー」でしか食べることができなかった幻！？の「おもてなし料理」をお腹いっぱい食べる事が出来ます。また「おかみさん市」の中の8つのグループが持ち回りで担当することから毎週個性が違ふ手作り料理が楽しめます。先月取材した「オーガニックオカミーズ」の担当の時はオーガニックサラダのレシピを代表の桐島さんに訪ねているお客さんもいて、素材を活かした味付けに人気が集まっていました。

皆さん、毎週水曜日は「おもてなしバイキング」で昼食を食べ、おかみさん市おもてなし料理通になってみては如何でしょうか。

お問い合わせは、道の駅四万十とおわ（TEL 0880-28-5421）まで。



↑ 大好評だったオーガニックサラダ！



↑ 店内の様子（H.19.12.5 古城グループ）